



N.S.ニュース速報A

NSDAP/AO : PO Box 6414

Lincoln NE 68506 USA

www.nsdapao.org

#1125

06.10.2024 (135)

アドルフ・ヒトラー

最愛の総統

パート2

クリスマス・ストーリー

アドルフ・ヒトラーが国民のために闘った初期の頃でさえ、どれほど国民に愛されていたかを理解するのは難しいかもしれない。党の公式伝記作者であるハインリヒ・ホフマンは、1923年のクリスマス直前にミュンヘンで起こった洞察に満ちた出来事を回想している。そのわずか1カ月余り前、16人の同志がオデオン広場で射殺された。運動は11月9日の一揆未遂事件で崩壊し、メンバーは死んだり、隠れたり、総統のように投獄されていた。点火された希望の火花が血で消えた後、戦後のドイツは再び社会的混乱、経済的破滅、文化的腐敗という灰色の絶望の中に沈んでいった。これが、ホフマンが68年前の荒涼とした12月に語った場面の舞台だったのだ...

ヒトラー・ムーブメントの芸術家たちは、クリスマスをブリルテシュトラーセのブリュテ・カフェで、『獄中のアドルフ・ヒトラー』と題したタブローで祝おうと計画した。

「私はヒトラーの替え玉を探す仕事を与えられた。偶然、私はヒトラーによく似た男に出会った。私は彼に、このタブローに参加してくれないかと頼み、彼は快諾した。

「ブリュテカフェの大ホールは人で埋め尽くされた。幕が上がり、半分暗くなった舞台に牢屋が見えると、敬虔な静寂が訪れた。小さな格子窓の向こうに、雪が舞っているのが見えた。小さなテーブルには、観客に背を向けた男が座っていた。目に見えない男声合唱団が*Stille Nacht, heilige Nacht*と歌った。

「最後の音符の音色が消えると、小さな天使がイルミネーションが施されたクリスマスツリーを携えて独房に入ってきた。

"ヒトラー"はゆつくりと、観客と対面するまで振り返った。多くの人は、それが本当にヒトラー自身だと思い、会場には半泣きの声が響いた。

"明かりが灯り、私の周りでは、潤んだ目をした男女がハンカチを取りながら急いで消えていくのが見えた"

出典ハインリッヒ・ホフマン著『ヒトラーは友人だった』バーク社、ロンドン

4月20日

リーゼロッツテ

今日、全世界の国家社会主義者は、彼らの総統アドルフ・ヒトラーの誕生日を祝う。

われわれは、1918年の反逆に直面しながらも、新しい世界観と何百万人もの人々に受け入れられる運動を創造した総統を称える。われわれは、ドイツを「国際同胞愛」の沼地から引きずり出し、ドイツ国民に民族意識を取り戻させた総統を称える。真っ赤な鉤十字の旗の下、ヨーロッパのアーリア民族を率いて国際的なユダヤ人寄生虫に対抗し、ついにはユダヤ人、資本家、共産主義者の陰謀の犠牲となった総統を称える。

国家社会主義ドイツの総統であり、アーリア世界の総統であったアドルフ・ヒトラーが死んだ。彼は世界ユダヤとの闘いの中で倒れた。彼は退陣も降伏もしなかった。彼はドイツ民族の総統としてヴァルハラに入った。

帝国首相官邸は爆破され、ベルクホーフは荒廃し、ニュルンベルク党大会の会場は取り壊され、通りは改名され、党事務所は没収され、旗、軍服、書籍は燃やされた。アドルフ・ヒトラー、そして第三帝国の偉大さと栄光を思い起こさせるあらゆるものを根絶やしにしようとする試みにおいて、やり残したことは何もなかった。

ドイツ民族を偉大にしたものをすべて破壊した後、傀儡政権はドイツ民族を永遠に奴隷にできると考えた。

しかし、これらの寄生虫が、その物質的な現れや象徴を破壊し、指導者を殺害することで、この運動を永遠に消滅させることができると考えたのなら、我々は彼らにこう言おう：ドイツ国民は、投機、戦争扇動、大量虐殺

によって権力を握った劣等民族に永遠に奴隷にされるくらいなら、戦わずに滅びる方がましだ！

NSDAPは世界ユダヤとの闘争において屈服していない。これからも屈服することはないだろう。1945年5月8日に起こったことは、われわれの仲間内の裏切り者と臆病者のおかげでドイツを占領することができた敵によって、軍指導部に強制されたことである。1945年5月8日にどんな交渉が行われようと、われわれには関係ない。国際法も、紙の上にはしか存在しないか、せいぜい勝者に有利なように書かれているにすぎない。そうではなく、われわれは祖国を解放し、外国の影響を排除し、人種の衰退から祖国を守らなければならない。ユダヤ人の影響力を排除しなければならない。そして最後に、世界を二度も戦争に陥れたあの民族に、その罪の責任を問うという名誉ある仕事がある。何百万、何千万という男、女、子供が、あの無教養な人種の復讐心、貪欲さ、世界支配計画の犠牲になったのだ.....25年以内に2度も！

その犯罪民族は、世界征服の計画が脅かされれば、躊躇なく第三次世界大戦を起こし、計り知れない人的被害をもたらすだろう。したがって、私たちは公然とこう宣言する：そのような大惨事を、必要であればどのような手段を使っても阻止することが私たちの目標である。

第三帝国におけるユダヤ人問題の「最終解決」について：投機家、詐欺師、裏社会の人物たちを観察するだけで、そんなことは起こらなかつたことがわかる。賠償金を受け取るユダヤ人の巡礼や、アメリカ、ヨーロッパ、南アメリカにあるユダヤ人の植民地は、「最終的解決」が存在しなかつたことの生きた証拠である。私たちはそれについて時間を無駄にする必要はない。

「ガス処刑」に対する目撃証言はあるが、それを証明するものはない。国際赤十字の報告書でさえ、ユダヤ人に対する人間的な扱いを記述している。しかし、われわれが再びこのような過ちを犯すと考えるのは、われわれ国家社会主義者を無節操とみなすことになるだろう。

反対派は、半世紀前と同じように、人間性などという戯言を世界に氾濫させるだろう。しかし、私は反対派に問いたい：ヨーロッパの都市を破壊したとき、あなた方の人間性はどこにあったのか？ 何百万人もの同胞がアジアの大軍に虐殺されたとき、あなた方の人間性はどこにあったのか？ われわれの女性や子供たちが連合軍の爆撃で死んだとき、何十万人もの党の同志が拉致され、殴打で不具にされ、殺されたとき、あなた方の人間性はどこにあったのか？ それがすべて、あなた方の人間性の表現だったのか？

無数のヨーロッパ人が同じ運命をたどった。なぜなら、彼らは愛国者として、また自覚的なヨーロッパ人として、ユダヤ人＝ポリシエヴィキの敵との闘いに参加したからである。30万人のイタリア人と15万人のフランス人が、ユダヤ人に扇動された暴徒によって殺害された。彼らの多くは、虐待の傷跡をいまだに引きずっている。

私たちは、「世界同胞愛」の国際的使徒たちが、最終的に裁判にかけられたとき、その巨大な犯罪の罪状からどのように身を守ろうとするのかを見たいと思っている。彼らの言い分がどうであれ、彼らと彼らの背後にいる人種は、その運命から逃れることはできないだろう。

われわれの場合、これは単なるフレーズではないので安心してほしい。世界ユダヤは一時的に、軍事的に敗北した民族の血に酔うことに成功したかもしれないが、国家社会主義の思想を破壊することはできなかった。たしかに総統は倒れ、運動作品は焼かれ、禁止された。しかし、国家社会主義は魂の奥深くに根を下ろし、復活を遂げようとしている。総統が肉体的には死んだとしても、彼の精神はもつともつと生きている。国家社会主義ドイツの総統は、肉体ではなく、彼だけが体現した国家社会主義の思想を通して、今日も私たちと共にある。

総統は、その偉大な著作『わが闘争』や演説、著作を通じて、われわれが行動すべき世界観、政治的、戦略的基盤を、いつの時代にもわれわれに与えてくれた。

政治体制は確立され、打倒される。政治家は現れては消える。しかし、176総統とその業績は、将来にわたってドイツ民族とアーリア人の世界の存立の基盤であり続けるだろう。

月30日は、軍事的に絶望的なベルリンでドイツとヨーロッパの親衛隊に守られながら、総統が最後の遺言を残し、妻とともにこの世を去ってから47年目にあたる。47年後の今日、私たちは総統の政治的遺言を手にした。

30年後、総統自身の言葉によれば、国家社会主義運動は再び勃興した。若い世代によって担われたこの運動は、総統の意志を実現する用意ができていいる。総統の名と精神に基づき、われわれはヨーロッパの中心にあるこの「連邦共和国」傀儡政権を克服する。われわれは、名誉、栄光、偉大さ、正義の聖なる第四帝国を建設し、総統の意志、すなわち国家社会主義運動の輝かしい復活を実現するのである。

我々は、アドルフ・ヒトラーよ、貴殿に死に対する永遠の忠誠を誓う。われらの総統、あなたの最後の意志が成就するまで、休まず、気を緩めないことを誓います。われわれ国家社会主義者は、狂信的な決意をもってあなたの最後の指示に従い、あなたの死と何百万ものアーリア人の死の罪を犯した者たちを裁きにかける。我々は、この誓いを破るくらいなら、死を選ぶ。

我々は今、あらゆる国籍の国家社会主義者の軍団と連帯している。世界ユダヤが世界支配を達成し、すべてのアーリア民族が滅亡するか、アーリア民族がユダヤ人政権を排除するかのいずれかである。しかし、アドルフ・ヒトラーを総統とするわれわれは、戦わずに自発的に排除されることを許さない！ドイツ民族は、国際的なペテン師集団の手先になるくらいなら、滅びることを選ぶだろう！常に自由を守り、自由を勝ち取る用意のない民族は、その生存権を失っている！

総統は、世界ユダヤとの闘いが、生存のため、生命のための闘いであることを決して疑わなかった。われわれの都市の廃墟から、アドルフ・ヒト

ラーの運動は、ドイツの自由のため、ヨーロッパの統一のため、そしてアーリア民族の共同体のための闘いを再開した。次の数年が決断をもたらすだろう。

しかし、敵味方にかかわらず、確かなことが一つある。我々は屈服しない。そんな言葉は我々には存在しない。我々にとっては勝利か死だ。それ以外の選択肢はない。もしわれわれが、諸国民の自由のためのこの闘争で滅びるならば、敵の隊列は大幅に薄くなるだろう。

我々は降伏も屈服も知らない。われわれが知っているのは、総統、民族、祖国に対する義務の履行だけである。総統の生と死は、われわれに狂信的な服従と国家社会主義の理念のための努力という義務を与える。

「ヒトラーの業績と使命は、後世への聖なる遺産である。生きている我々には、戦い続ける義務がある”- シェールナー元帥

この "Lieselotte "の記事は、1978年3-4月号 (25号) に掲載された*Der 20.4*月号 (『NS *Kampfruf*』1978年3-4月号 (25号) より) を翻訳したものである。



NS KAMPFRUF
KAMPFSCHRIFT DER NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN ARBEITERPARTEI AUSLANDS- UND AUFBAUORGANISATION

September 1934 April 1937 (2.30)

Der Kampf geht weiter !

Seibing Jahre nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 ist die nationalsozialistische Bewegung wieder da. In Form der Nachkriegszeit. Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!

Merkmale von Massenterror, Verfolgung, Verfolgung und Verfolgung haben nicht zugenommen, die Kräfte der gesamten Welt werden hell glühend. Hitler, Adolf Hitler ist zurück.

Alle Nationalsozialisten sind weniger arbeitslos, Völkern und Rassenbewusstsein werden wieder an Schulen im Kampf um die Erlangung unserer weisen Völker.

Die Bewegung ist zwar nicht so groß geworden, aber die Größe des bekämpften Volkstums ist heute noch viel größer als in der Vergangenheit.

Der vorwiegend gegen sie abzuwehrenden, das Volkstum – gegen alle weissen Völker (V) – zu bekämpfen, keine Mittel sind Ermordung, Überforderung und Zusammenbruch.

Ob "Hitler" oder "Hitler", ob im Wahlkampf oder im Streikkampf, ob im Propagandakampf bewaffnet oder auf einem Schulhof mit einem Hitler Nationalsozialisten bei seiner Pflicht!

Hitler Hitler
Gottfried Lauck



TROTZ VERBOT NICHT TOT!



N.S.ニュース速報A
www.nsdapao.org
#1005 19.06.2022 (133)

NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA

フロントレポート
モリーへのインタビュー

第3部

NSDK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したものですね。

このような話題が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続けますが、主にAdolf Hitler and the Army of Mankind (www.mourningtheneicent.com/truth.htm)に集中して取り組んでいます。現在21ページですが、まだまだやる事がたくさんあります。第二次世界大戦の軌跡は、まさに情報の地雷原です。1つのことについて情報を探しても、さらに2つほど調べたいことが出てくる。まるで、埋も



the **NEW ORDER**

Number 179 (197) Founded 1978 April 26, 2022 (120)

The Fight Goes On !

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defamation have not sufficed to destroy the seed of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other racially-aware countrymen and racial kinemen fight side by side for the preservation of our White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are non-White immigration, culture dilution, and race-mixing.

Whether "Hitler" or "Hitler", whether in election battle or street battle, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind, every National Socialist must do his duty!

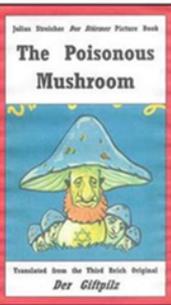
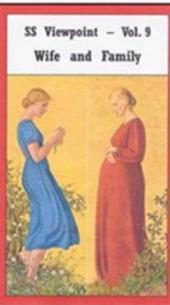
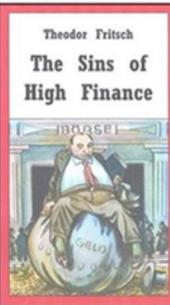
Hitler Hitler!
Gottfried Lauck



TROTZ VERBOT NICHT TOT!

NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期行物
多くの言語の何百冊もの本
多くの言語の何百ものウェブサイト

<p>SS Defender against Bolshevism by Reichführer SS Reichlich Riemer</p> <p>FOR DANMARK! MOD BOLSEVISMEN!</p>  <p>Translated from the SS Original</p>	<p>Julian Steinlich der Ritzener Pflanz Book</p> <p>The Poisonous Mushroom</p>  <p>Translated from the Third Reich Original Der Giftpilz</p>	<p>Reichlich Ritzener</p> <p>Hitler in Italy</p>  <p>English / German Deutsch / English</p>	<p>SS Viewpoint – Vol. 9 Wife and Family</p> 	<p>Theodor Fritsch</p> <p>The Sins of High Finance</p> 	<p>Luftwaffe War Art Die Luftwaffe im Bild</p>  <p>English – German / Deutsch – English</p>
--	---	---	--	--	--

BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!
www.third-reich-books.com



NSDAP/AO
Fight Back!



nsdapao.org

Contact us to
find out how
YOU can help!